

北山村議会だより

- ・平成24年3月定例会
- ・議員が村の考え問う（一般質問）
- ・台風12号災害の経過について

北山村議会だよりは、議員の手により企画から編集発行まで行っています。定例会・臨時会の概要や一般質問の要旨、各委員会からの調査報告など、議会活動を、明瞭簡潔に掲載してまいります。



発行 北山村議会

平成24年度3月定例会 当初予算を可決

一般会計予算額 8億9340万2千円 対前年度比 11.2% 増

特別会計含む総計予算額 16億1959万4千円 対前年度比率 9.8% 増

平成24年3月定例会は、3月9日から14日までの日程で開催され、平成24年度各会計当初予算、平成23年度補正予算、条例改正等11件、計26件の議案が上程されました。慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。主な議案として新年度予算及び一般質問を中心に掲載しております。

平成24年度 各会計当初予算の状況

(単位:千円 %)

会計別	平成24年度	平成23年度	差額	増減額	
一般会計	893,402	803,167	90,235	11.2	
特別会計	国民健康保険特別会計	109,272	107,049	2,223	2.1
	介護保険特別会計	72,446	86,963	-14,517	-16.7
	後期高齢者医療特別会計	30,640	29,848	792	2.7
	簡易水道特別会計	104,331	99,428	4,903	4.9
	国保直営診療所特別会計	82,085	80,381	1,704	2.1
	地域振興事業特別会計	241,228	267,799	-26,571	-9.9
	温泉施設事業特別会計	86,190	0	86,190	皆増
	特別会計合計	726,192	671,468	54,724	8.1
総合計	1,619,594	1,474,635	144,959	9.8	

平成24年度歳入予算(款別)集計表

一般会計内訳	平成24年度		平成23年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比
村税	66,767	7.5	63,650	7.9
地方譲与税 他	9,073	1.0	8,588	1.1
地方消費税交付金	4,716	0.5	4,500	0.6
自動車取得税交付金	2,274	0.3	2,400	0.3
地方特例交付金	1,711	0.2	1,950	0.2
地方交付税	465,000	52.0	444,493	55.3
分担金負担金	697	0.1	939	0.1
使用料及び手数料	11,234	1.3	12,084	1.5
国庫支出金	46,128	5.2	32,473	4.0
県支出金	59,537	6.7	79,906	9.9
財産収入	1,866	0.2	2,049	0.3
寄附金	510	0.1	2,510	0.3
繰入金	134,306	15.0	65,000	8.1
繰越金	20,000	2.2	10,000	1.2
諸収入	8,383	0.9	17,225	2.1
村債	61,200	6.9	55,400	6.9
合計	893,402	100.0	803,167	100.0

平成24年度歳出予算(款別)集計表

一般会計内訳	平成24年度		平成23年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比
議会費	24,029	2.7	28,622	3.6
総務費	198,160	22.2	172,796	21.5
民生費	169,686	19.0	171,391	21.3
衛生費	81,764	9.2	66,874	8.3
農林水産業費	93,589	10.5	91,584	11.4
商工費	46,173	5.2	27,662	3.4
土木費	70,588	7.9	38,153	4.8
消防費	15,720	1.8	13,113	1.6
教育費	58,047	6.5	56,076	7.0
公債費	134,646	15.1	135,896	16.9
予備費	1,000	0.1	1,000	0.1
合計	893,402	100.0	803,167	100.0

議会のポイント

- ・温泉施設事業特別会計が新たに設けられる。
 - ・地域振興事業会計(じゃばら事業・観光筏下)予算減少。
 - ・地方交付税の依存率が50%と高い。
 - ・財政調整基金(積立金)からの繰入(取崩)の増加。
 - ・普通建設費等の増加で、村債の発行額が増加。
- ★厳しい財政状況中、適正な行財政運営が求められる。

平成24年度施政方針の概要（総務建設委員長からの報告）

① 医療・福祉について

平成24年度2月末の社協の介護サービス利用状況は、65歳以上が222名（高齢化率46.2%）、要介護認者41名で、ホームヘルパー利用者が16名、デイサービス利用者が28名、支援ハウス利用者が7名となっています。平成23年度の介護給付費は、在宅・施設入居を合わせ総額が49,600千円、見込まれ、施設入所については、一人当たり年間で3,200千円の費用を要しています。介護予防や健康管理を推進し、福祉医療事業等の現サービス水準を低下させないよう取り組みます。

② 消防救急・防災体制について

消防・防災施設の整備として、平成22年度から着手している防災道路の整備（村道下尾井線改良）や、防災拠点の整備（大沼区民会館の建設35,000千円）、防災用品備蓄倉庫の設置（大沼・下尾井 1,100千円）非常食の購入（1,200千円）などが予算化されています。今後、防災強化のため防災訓練の実施や新しい防災対策要綱の策定など、村民の安心・安全を守るため基本となる対策が講じられます。

③ 地場産業の観光振興について

じゃばら・・・平成23年度の村内の果実収穫量は約63トンで昨年の8トンの減、収入として約7000万の減収。収穫量が減少した要因は、開花の時期が遅れたことや樹木全体が30年を超え弱っていること、幹腐れ病等の影響があるとの見解です。今後、県農業改良普及所等と連携し収穫量UPを図る。また、最近、他地域からの果実や商品なども多く出回っており、北山ブランドの確立、新商品の開発や整理統合を推進し打開していきます。

観光筏下り・・・平成23年度は、台風6号、12号の影響を受け、運航日数、乗船客（実績4,396人）が大きく減少し、当初予算の約1,000千円の減収となります。現在、筏師は後継者12名、外部から2名の14名体制で行っており、経営の安定化のためには、1日8乗りの運航が必要。（財）北山村ふるさと振興公社の解散（3月末）に伴い、筏師後継者組織の受け皿として、北山振興株式会社（資本金500万村全額出資）が設立され、将来的には、特産じゃばら、観光筏、温泉の民営化も検討されます。

おくとり温泉・・・昨年5月にリニューアルしたものの、台風災害などの影響による入込客の減少、人件費や原材料仕入、ボイラー燃料代など高コスト体質の問題をかかえ、大幅な赤字が見込まれます。抜本的な経営体制の改善を図るため、公社を一旦解散し、村直営の施設として新しい運営がスタートされます。また、コスト削減と安定した給湯管理を行うため、新灯油ボイラー増設や循環かけ流しシステム導入などの工事も予定されています。おくとり温泉は、村にとって欠かせない施設であり、安定かつ健全な運営を図るためにも、執行部の努力、村民の支援協力が必要です。

④ 道路・林道等整備

国道169号奥漣道路Ⅱ期区間（5.2km）国交省直轄工事の本年度は、和歌山県側9～10億円、奈良県側1～6億円が予算化されており、峰トンネル・竹筒トンネル・玉置口橋梁等の工事が計画されます。村内の国道169号については、今年度、竹原地区の用地買収が進められます。

平成24年度の村の新規事業としては、林道大谷平田線開設工事（43,000千円）、奥漣橋塗装工事（27,000千円）ほか、引き続き、大沼中州農道工事が計画されています。村にとって不可欠なインフラ整備は、積極的な事業化が図られています。

（昨年の災害復旧工事の一部、本年の繰越事業として完成されます。）

⑤ 簡易水道について

簡易水道再編事業は、住民生活の大切なライフラインであり、平成23年度から平成27年度までの5カ年で総額420,000千円、全区間を完了する計画です。平成24年度は、四の川送水管～配水地・木下尾井木屋までの配水管引込み工事が行われます。

⑥ 村ぶろ

「NPOじゃばらむら」は、北山村を拠点に、多様な活動を行っており、前年度は、緑の分権改革25,000千円事業（村委託）、本年度は、ブログポータルサイト・「村ぶろ」の運営管理を行うことが決定。

条例の一部改正

- ① 介護保険条例の一部改正について
介護保険料について、平成24年度から3年間、現行の基本料金を4400円から、400円下げ、4000円にするための改正。
- ② 北山村特別会計条例の一部改正について
平成24年度から、おくとろ温泉が村の直営化となることから、新たに、北山村温泉施設事業会計を追加するための改正
- ③ 北山村若者後継者林業等後継者住宅管理条例の一部改正について
公営住宅法による家賃算定とし、最高限度額を3万にするための改正。これについては、現住宅は、単身者向けとなっており、一般住宅と比べ間取りや部屋数も少なく家賃限度額を低くするもの。
- ④ 北山村緑の雇用担い手住宅管理条例の一部改正について
公営住宅による家賃算定とし、高額限度額をそれぞれ、4万（下尾井4戸）と6万（竹原2戸）にするための改正。（内容については、③に同じ）

議員が村の考えを問う(一般質問) 1

防災・救急体制について

質問 新しい防災対策の制定は行われるのか？

回答 現在運用している防災対策は、職員や消防団員の出動要請などはダム放流によるものを対象としている。近年の災害の状況は、大地震、津波、台風等の風水害、土砂災害などで大きな被害を出しており、これらに対応した新しい防災対策要綱を定めることとしている。少なくとも骨子は、6月の防災訓練までに作成し、最終案は、9月までに作成するものとする。（村長）

質問 自主防災活動の強化と防災訓練の実施について？（実施時期や訓練の内容方法）

回答 災害時等の非常事態に対応できる組織とするため、要支援者の安全確認と非難支援、被害者が出た場合の救急体制等を踏まえた訓練が必要。昨年3.11震災や、昨年9月の台風被害の経験を踏まえ、総合的な防災訓練を実施する。地震、風水害、土砂災害など実践を想定した訓練を実施したいと考えているが、詳細は今後検討する。（村長）

質問 防災拠点の整備と新設についての考えは？

回答 防災拠点として耐震化・新設している区民会館は、残すところ大沼地区だけ。北山村はどの地区をとっても土砂崩壊や土石流に安全という場所がなく、区民会館が、安全であるとは一概に言えない。土砂災害対策に対してはより安全な場所を調査選定して行く。（村長）

質問 救急体制について ストレッチャーの訓練について？

回答 使い方を間違えると患者に大きな被害を与える危険性あり。慎重な取り扱いが求められるので、救急資機材の点検を含め定期的な取り扱い訓練を実施していく。（村長）



議員が村の考えを問う(一般質問)2



質問 災害時の近隣市町村との連携について？

回答 県内の相互応援協定はもちろん、他府県への緊急援助隊を要請できる取り決めはある。地元自治会等を含めたレベルで要請ができるよう具体的な話を進めていきたい。(参事)

質問 災害時における事前の重機・燃料の配備について？

回答 災害時における地元建設業組合との協力に関する協定はある。災害前の重機の配備・燃料の備蓄等の具体的な話を今後進めていく。(参事)

質問 災害時に備えた、各地区の山水など給水設備の整備について？

回答 ライフラインの一つである水の確保は重要課題である。山水の確保のため、後の管理等を含め、事情に詳しい各区長と相談し水源確保に取り組んでいく。(参事)

福祉対策について

質問 子供に対する村独自の手当を創設する考えはないのか？(就学補助のようなもの)

回答 保育所の保育料無料化と中学生までの医療費の自己負担分の無料化がある。その他、若者定住促進として、保育園、小学校、中学校入学祝い金の支給や住宅家賃補助がある。
(住民福祉課長)

質問 病気を抱え、村外の医療機関に通院する高齢患者の通院手段は？子供や近所の身内などに頼る人のいない人はどうすればいいのか？

回答 住民が安価でかつ便利に活用できる自家用有償運送などを活用する。通院、買い物等も含めた対策が必要となっているが、NPOと連携した過疎地有償運送など仕組みを作っていく。
(社会福祉協議会局長)

質問 認知症の患者が増加傾向にあると聞いているが、グループホームのような施設を作る考えはないのか？特別養護老人ホームはどうか？

回答 現在、村外福祉施設への入居者は6名で、要支援15人 要介護者26人 計41人となっている。今後、後期高齢者が増加される中、福祉施設への入居者は当然増えると考えられる。福祉施設の建設については、採算性や東牟婁管内の調整(福祉計画や補助金の問題)が障害となりハードルが高い。グループホームは、24時間体制の運営で、人員雇用の確保ができず、利用者の負担は高額なものとなる。現福祉センターの居宅介護施設の増設は、今後入居者の状況等を調査して方針を決めたい。(社会福祉協議会局長)

観光振興について

質問 平成27年完成の奥瀬道路と平成25年度完成の熊野市までの高速道路開通に備えた観光振興についての考えは？

回答 開通により東海方面からの観光客の増加が見込まれる中、現在、設置している3基の観光看板の見直しや案内標識の設置を行う。観光筏下り、ラフティング、温泉などさらなるプロモーション活動の強化が必要である。3月11日に行われた筏師の道ウォークイベントでは都会からの参加者の評判も意外とよかった。今後、温泉宿泊とセットプランなど旅行業法とのからみもあるが、少しでも多くの人を足を運んでくれる観光施策を検討していく。(観光産業課長)



議員が村の考えを問う(一般質問)3



質問 おくとり公園の活用として、グラウンドを整備拡張して、サッカー公式試合も可能な練習場にできないか？
テニスコートの人工芝の傷み、補修は行わないのか？

回答 サッカーグラウンドとしては縦の寸法が20m足りない。水はけも悪く、公式試合のできるサッカー場となると人工芝にする必要がある。費用対効果を考えると現実的でない。テニスコートについては、整備から20年が経過しており、コケが広がり見栄えが悪い。砂の敷き替えには1面100万円かかる。利用者が少なく、補修する方向で管理者の商工会と協議する。また、中学や高校大学の合宿に利用してもらえるようPRに勤める。

(観光産業課長)

質問 筏師後継者部門が法人設立されるが、今後自立できる方向性はあるのか？
その財源確保は？

回答 村行政の一環を担う業務の実施、現在行っている観光筏、じゃばら産業、森林整備、ごみ収集にくわえ、個人所有の森林整備や、行政部門の業務、例えば、水道管理、バス運行管理などについても考慮していくならば自立は充分開けていける。しかし、北山村の観光資源第一は観光筏下りであり、存続は重要課題で、後継者確保という観点からも議論が必要。観光筏、じゃばらが特別な事情で縮小や廃止されない限り財源は確保できる。(村長)

質問 おくとり温泉 温泉休館(公社解散も含め)について、公社理事長である村長は、マスコミや施政方針の中でも台風災害を上げているが、約3千万円の赤字を出すことは、天災ではなくリニューアルから始まり、見通しの甘さによる人災でないのか？今後の見通しと、施設存続の限界点についてどのように考えるか？

回答 温泉の経営悪化は、台風被害の影響が大きい、運営体制としても高コスト体質になっていることも大きい。温泉施設の規模に見合った事業収支予測が適切であったかどうかと言われれば、結果としての確性に欠けていたと言わざるをえない。今後の運営は規模に応じて身の丈にあった運営に取り組んでいく。施設存続の限界点という観点からは、現在の状況や経営規模を考えると7千万前後と理解しているが、おくとり温泉が北山村にとって必要ないと言うならば廃止すればいいし、是非とも必要というならば、事業収入が5千万以下になろうとも、経営体制やサービス提供のあり方を含め存続の議論をすべきである。(村長)



総務関係

質問 村民が行政情報を得る手段は広報しかないと思われるが、近年発行が少なく、24年度は何回発行する予定なのか？また、新年度作成予定の村政要覧とは？

回答 年4回 発行月は1月、4月、7月、10月、基本的には定例会の翌月の発行を考えている。内容は村政の記録誌として保存が必要な行政活動、行事イベントなどである。村政要覧は、平成12年版を発行して12年経過しており、部数を少なくし経費を抑えるなど制作の工夫を図る。HPも活用し閲覧・印刷できるようにする。(参事)

※その他の質疑

- ・役場職員の接客対応ができていない、
役場に入りづらい受付職員がいない、改善策は？
- ・「村ぶろ」の運営について
何故、NPOじゃばらむらへの委託するのか？
- ・東北のがれき処理の問題 村での受入れは？



電源開発への要望

平成24年3月1日(木)電源開発(株)西日本支店(橋本関西支社長)を訪問し、平成23年台風12号のダム放流による被害について要望を行いました。村に甚大な被害をもたらした、ダム放流における電源開発の管理責任や補償問題についての見解を伺ったほか、村からは、村民の安心・安全を守るための8項目の要望事項を提示し、早急に対処していただくことを強く求めました。 継続要望中

要望事項 (※電源開発からの回答)

- ・ 洪水時痕跡調査について(七色ダムからの放流量と河川水位の関係)
※回答 4月末を目処に調査実施する
- ・ 小森ダム建設前後の河川水位の上昇についての資料提供
※検討中。
- ・ ダム放流中における下流河川状況の把握(監視の実施)
※回答 人員確保等の検討を行う。
- ・ 電光表示板を活用した放流量の表示
※回答 費用的な問題から、すぐには困難。
- ・ ダム放流時のパトロールの実施(住宅を重点的に行う)
※回答 河川への呼び掛けについては連絡済み。
- ・ 投光器と量水標の設置について
※回答 検討を行う。
- ・ 停電時の電話不通時の通知方法の検討
※回答 防災無線有効活用・フリーダイヤル4回線から8回線に増設する
- ・ 七色ダム堰堤道路の流木処理等における通行止めの回避について
※回答 今後、通行止は行わない。



区役員との懇談会

平成24年4月26日(木)村民会館において、議員と区役員との懇談会が開催されました。

同会の趣旨は、議会の情報公開と、「地域の課題を皆で考え、村の活性化と発展につなげて行こう」というもので、各区から役員17名の参加がありました。第1回目のテーマは、久保隆俊災害対策特別委員長から、今年の台風12号による災害復旧についての経過報告、亀田総務建設常任委員長からは、おくとろ温泉の今後の運営と、村政の全般の近況報告が行われました。質疑では、各区長より、ダム放流に対する電源開発の対応や、地域防災対策について質問や意見が出され、有意義な話し合いがもたれました。



陳情箇所の視察

平成24年5月11日(金)総務建設常任委員会にて、全議員出席のもと、各区から取り上げられた陳情箇所を視察しました。当日は、各区長さんをはじめ関係者の立ち会いで、今年の台風12号災害による被災現場・土砂災害が予想される危険箇所や、不法投棄がされているゴミの現状を順次みて回っております。

例年と同じく、執行部へは、緊急かつ必要性を充分判断し、必要な対策を講ずるよう求めております。特に、台風による災害を受けた地域では、避難路の確保、土砂崩壊等の危険箇所の復旧など、村民の安心・安全を守る観点からも、早期対応が必要です。



議員コラム

金環日食もあいにくの曇り空でしたが、雲の中にうっすらと見ることができました。国内では、沖縄以来25年ぶり。北山村を含め和歌山県で見られたのは実は280年ぶり。今回のような広範囲で見られるのは300年後ということでもあります。

「議会だより」もようやく何年かぶりに発行することができました。昨年末、議員に就任させていただいた中で、村民の皆様には村の情報が伝わっていない。ややもすれば間違った情報あるいは憶測による情報が飛び交ってしまう状況の中で、まずは取り組むべき情報発信。その中で議会活動を理解していただいて村政に関心を、もっていただければ・・・何年ぶりかの復刊への思いです。

今年度から議会の要望で、ようやく議会事務局専任職員も配属されました。「議会だより」も限られた紙面の中で、どれだけ情報を発信出来るか？事務局と編集委員の二人三脚で機会あるごとに情報発信に努めて行きます。「百聞は一見にしかず」ではありませんが、「読むより見て聞く」、議会の傍聴も必要ですよ。

議員フォトギャラリー 北山川観光筏下り開航式 5月19日(土)



北山村議会・委員会構成

北山村議会 議長 葛城 健也 副議長 福村 尚

北山村議会委員会等の構成（主なもの）

- 総務建設常任委員会 委員長 亀田 剛 副委員長 山口 賢二
- 議会運営委員会 委員長 久保 隆俊 副委員長 久保 學
- 災害対策特別委員会 委員長 久保 隆俊 副委員長 山口 賢二
- 監査委員 福村 尚
- 紀南環境衛生施設組合議会 山口 賢二 ・ 亀田 剛
- 後期高齢者医療広域連合議会 久保 隆俊
- 国保運営委員 亀田 剛 ・ 久保 學
- 熊野川流域対策連合会 議長 総務建設常任委員長
- 国道42号（田辺～新宮）改良促進協議会 議長